



第14回日本男性会議

だいじょーぶか!! 男たち

— 未婚・結婚・離婚 = 男の悲劇? —

離婚率も増え、非婚の人たちも増えてきました。離婚を巡って、子供の奪い合いや、一方的な引きはなしで、親子断絶という痛ましい現実も看過できなくなっています。政府は離婚後の共同親権について検討すると言いはじめましたが、問題は簡単ではありません。家族を巡っては、DVや、虐待などの問題は防止法施行以降も終わる気配を見せませんし、女性支援の限界や矛盾も言われる中で、男性に対する支援も一向に進みません。「男らしさから自分らしさへ」との言説から二十年、真の男の自由について考えてみたいと思います。

男性と女性が対立するのではなく、真に平等で対等な関係を作り、ひとりひとりの個性が尊重される社会・家庭を作るために、家族を巡る法律や制度について、女と男が対話し、相互理解を深める対話と共感の場を持ちたいと思います。これまで、十三回に亘って男と女が当事者性を持って語り合う場を設けました。今年は大阪で当事者のための集まりを持ちたいと思います。

時 2020年11月7日 (土) 9:30~20:30

所 大阪市天満橋 ドーンセンター

大阪府大阪市中央区大手前1丁目3-4 9

参加費 ¥1,500

(男女を問わず誰でも、子供連れでも参加できます。

ただし保育はありませんので、各自安全には配慮してください。)



プログラム

9:15 開場 受付

9:30 ~ 11:30 基調講演 深尾葉子 「男性性とアイデンティティーの行方」

12:30 ~ 15:00 パネルトーク I ○○が足りない? WHY!!

深尾葉子 佐藤義則 みゆき

コーディネイター 味沢 道明 (日本家族再生センター、メンズカウンセラー)

15:20 ~ 17:20 パネルトーク II: 「女の支援も辛いよね」

みゆき ひまわり ゆみ 味沢 道明

18:20 ~ 19:30 分科会1 「今どきママのしんどさ」 みゆき 他

分科会2 「男性相談というけれど」 川島 他

19:40 ~ 20:40 交流会

主催 メンズカウンセリング協会

共催 日本家族再生センター京都

問い合わせ 参加申し込みは (当日参加可)

メンズカウンセリング協会 第14回日本男性会議実行委員会事務局

〒607-8411 京都市山科区陵大津畑町38-3 (京都事務局)

日本家族再生センター内 Tel 075-468-3034

e-mail jafarec2003@nifty.com



☆プロフィール☆

深尾 葉子



大阪大学大学院 経済学研究科 経営学系専攻 グローバル・マネジメントコース准教授
主な著書『香港バリケード』『日本の男を喰い尽くすタガメ女の正体』『魂の脱植民地化とは何か』『「満州」の成立—森林の消尽と近代空間の形成』など多数
主に中国内陸農村部における環境問題の社会的歴史的分析を手がける。福島原発事故後は日本社会の共同体幻想の自壊を指摘した。その過程で自身の精神をも呪縛していた「魂の植民地化」現象を問題提起した。

佐藤 義則



1964年生まれ 山形県にてサラリーマンの家庭に生まれる。

32歳で2児のシングルマザーと結婚するも2年後に離婚

36歳の時に仕事と恋愛の問題から自殺未遂。

42歳で再婚し2人の子供に恵まれたが10年後の2015年に自身のDVにより家庭が崩壊。

その時から家族再生センターに関わり現在に至る。

味沢 道明



1954年広島県生まれ。北里大学獣医科卒。1988、サラリーマン生活10年でギブアップ。専業主夫からパート主夫に。自然派料理教室のかたわら、日本の男性運動をリード、加害者の脱暴力支援を開始。メンズ仲間と1995メンズセンター開設、1995「男」悩みのホットライン開設、1998非暴力研究会設立、1998メンズサポートルーム開設代表、2003日本家族再生センター設立 所長、加害被害、性別、年齢にかかわらず、困難の渦中の当事者のためのさまざまなサポートを提供。2005 第一回日本男性学会議開催、2008メンズカウンセリング協会設立 理事。著書ほか：『料理も暮らしもいい・かげん』、『殴るな！』『脱暴力のためのファシリテート』、『メンズカウンセリング実践』『DVはなおる』など。メンズカウンセラー